学校番号	T3017

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	国語表現　（教育出版）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書き方聞き方話し方等の国語による表現の上達を目指す科目で、そのために言語活動をします。
・教科書を理解する科目でないので遅刻欠席を最小限にし、集中して活動に取り組みましょう。
・ほぼ毎回提出物を求めます。まとまった作品について指示のある期日までに必ず提出しましょう。
・視写、聴写、メモ等の書き取り、発声法、朗読、話法等、実践的表現能力育成に取り組みます。
・日々の予習や復習については特に指示はしませんが、家に帰ってその日に学んだことを少し思い出すぐらいの時間は持ってください。
・長期休業中に課題に取り組んでもらう場合もあります。
・定期考査１週間前までに、特に復習してほしいことを授業で伝えます。学習計画を立てて家庭でも少し復習をする時間をとりましょう。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育てる。
伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばし、言語能力を高める。
進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに，国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話し的確に聞き取ったり、話し合ったりして、 自分の考えを深め、発展させている。	相手や目的、意図に応じた適切かつ効果的な表現による文章を書き，自分の自分の考えを深め、発展させている。	言葉の特徴や決まり、役割などについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	出席の状況 授業の態度 行動の観察 記述の点検 （ワークシート）	行動の観察 記述の確認 （ワークシート）	行動の観察 記述の確認 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ワークシート） 定期考査 小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動（学習の進み具合によって内容が前後することがあります。）

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	1 言葉に変える Ⅰ 基礎編	ステップ①　速く正確に書き写す ステップ② 　メモを取る・メモで伝える ステップ③　絵を言葉にする ズームアップ1 　筆写の天才　南方熊楠	○	○	○		a：表現能力を高めようとしている。 b:適切な情報の取捨選択、整理・記録。 c：的確な「書写」「聴写」。	観察 ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査
	2 声の表現	2　声の表現 ステップ① 　声を出そう――発声・発音 ステップ②　文字を声に変える ステップ③　スピーチの方法 ステップ④ 声の発表会――「私のおススメBOOK」 ズームアップ2 　他者に劈かれた声　竹内敏晴		○			b：音声言語表現方法の基礎の獲得。	
	3 漢字と語彙	ステップ①　漢字の仕組みを探る ステップ② 　語義を探る・語彙を広げる ステップ③　文字による表現				○	d：漢字の構造や部分の働きを理解している。 d：基礎的な単語を理解して使いこなせている。	
6 7	4 人とつながる言葉	ステップ①　挨拶と人間関係 ステップ② 待遇表現――敬語によるコミュニケーション ステップ③ 励ます言葉・受け入れる言葉	○	○		○	a：言語生活や具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする態度を身につける。 b：　的確な言葉の用い方ができる。 d：ことばの性質やことばと人間とのかかわりについて理解する。	観察 ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査
	5 言葉を遊ぶ	ステップ①　言葉遊びを楽しむ ステップ②　川柳を作る ステップ③ 　「二次創作」に挑戦する	○		○	○	a：言葉を具体的な表現活動に役立て、人間関係を維持・構築していこうとする態度を身につける。 c：適切な言葉を用いて川柳を作る。 d：言語による表現の娯楽的・創作的な側面を理解する。	
	6 文章表現の基礎	ステップ①　連絡文の書き方 ステップ②　効果的な説明の方法 ステップ③　相手や目的に応じた文章 ズームアップ3　レトリックの工夫			○	○	c：相手や目的に応じて正確で効果的な伝達や表現ができる。 d：相手や目的に応じて正確で効果的な伝達や表現の方法を理解する。	

8 9	Ⅱ 実践編 7 小論文Ⅰ	ステップ① 意見を論理的に述べる ステップ② セルフ・ディベート ステップ③ 文章の「型」――構成の方法 ステップ④ 構成ノート ステップ⑤ テーマ型小論文の実際 ステップ⑥ 文章のリフォーム――推敲	○		○	○	a: 他者に理解されやすい文章の書こうとする態度を身につける。 c: 文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し、論理的文章を書くための基礎力を養う。 d: 防衛力と説得力のある論理展開の仕方を理解する。	観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価
	8 小論文Ⅱ	ステップ① 要約の方法 ステップ②課題文から問いを見つける ステップ③課題文型小論文の実際 ステップ④ データを読む ステップ⑤データ型小論文の実際 ズームアップ4 つなぐ言葉			○	○	c: 二つタイプの小論文の実践的な書き方を身につけ、論理的に意見を述べる力を養う。 d: 要約の方法を理解する。	
10	9 論文作成法	ステップ① 論文作成の準備 ステップ② 論文作成の実際――「日本人の暮らしとコンビニ」 ステップ③論文の仕上げ―引用と執筆	○		○	○	a: 引用のルールやマナー遵守の態度を身につける。 c: 発展的な論理的文章作成力を養う。 d: 論文作成の手順と方法を理解する。	
11	10 プレゼンテーションの方法	ステップ① プレゼンテーションの実際 ステップ② プレゼンテーションの技術 ステップ③ スライドを使ったプレゼンテーション	○	○		○	a: 場や道具を大切にする態度を身につける。 b:ツールを用いて適切に伝えられている。 d: ツールの使い方を理解している。	観察 ワークシート 定期考査 自己評価 相互評価
	11 面接 ―社会との接点	ステップ①自己を分析する ステップ②質問と応答のレッスン ステップ③模擬面接をする	○	○		○	a:伝えようとする態度を身につける。 b:伝わる話し方ができる。 d:面接を理解し、自分を理解する。	
12	12 話し合いの方法	ステップ①目的に応じた話し合い ステップ② ディベートの方法1 ステップ③ ディベートの方法2 ステップ④ 意思決定・合意形成のための会議 ズームアップ5多数決と全員一致		○		○	b:目的に合わせた話し合いの形式や手法を身につける。 d:意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。	

1 2	Ⅲ 総合編 13 物語の創作	ステップ①物語作りの基礎レッスン ステップ②テーマから物語を紡ぎ出す ステップ③　作品集作りと合評会	○	○	○	○	a:表現を楽しんでいる。 b:適切な話し合いができる。 c:作品集を作り上げる。 d:作業段取り作成の方法を理解する。	観察 ワークシート 自己評価 相互評価 定期考査
	14 メディア・リテラシー	ステップ①メディアの特性を知る ステップ②新聞記事を読み比べる ステップ③広告というメディアを読む ステップ④　情報を編集する ズームアップ6 情報の海を航海する メディア・リテラシーの課題	○	○	○	○	a:他者との意見交流を楽しむ。 b:他者と適切に意見交流をする。 c:　読み手が理解しやすい情報編集ができる。 d:メディアの特性を理解すると共に、情報発信とその社会的意味を理解する。	
	15 社会にはたらきかける表現	ステップ① 外に踏み出す第一歩―ポップを作ろう ステップ② 自分の世界を伝える 見る人の心をつかむスライド作り ステップ③ 地域社会を知る イベント企画の用意 ステップ④ 地域とつながる表現活動 イベントの実行へ ズームアップ7 社会にはたらきかける表現	○	○	○	○	a:学んだ知識と技能を生かせようとして取り組んでいる。 b:人をひきつける情報発信ができる。 c:他者にわかる企画書を書く。 d:　五感に訴える表現の仕方とルールを理解する。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力 c:書く能力　d:知識・理解

※　原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について○を付けている。